

令和元年度 LEAP 事後評価 評価項目

1. 研究開発進捗状況について
 - ・研究開発計画に対する進捗状況はどうか
2. 研究開発成果について
 - ・成果が着実に得られたか
 - ・成果は医療分野の進展に資するものであるか
 - ・成果は新技術の創出に資するものであるか
 - ・成果は社会的ニーズに対応するものであるか
 - ・必要な知的財産の確保がなされたか
3. 実施体制
 - ・研究開発代表者を中心とした研究開発体制が適切に組織されていたか
 - ・十分な連携体制が構築されていたか
4. 今後の見通し
 - ・今後、研究開発成果のさらなる展開が期待できるか
5. その他事業で定める事項
 - ・世界をリードする顕著な研究成果を発展させることで、日本発の画期的な医療を実現し、それにより健康長寿社会の形成や関連する産業の育成、それらの国際展開などに繋げていくことができたか
 - ・研究開発期間の終了時点において、臨床研究及び治験への橋渡しや実用化を実現するための産業界への導出に向けて、研究開発等の流れが継承されることが期待できるか
 - ・研究開発期間終了後も研究を継続できる人材育成、企業連携やベンチャー起業等の出口、グローバル人材の取り込みにつながる取組を行っているか
 - ・PM の活動状況は、どうだったか
6. 総合評価
 - 1～5 及び下記の事項を勘案して総合評価する
 - ・生命倫理、安全対策に対する法令等を遵守した計画となっていたか
 - ・若手研究者のキャリアパス支援が図られていたか
 - ・専門学術雑誌への発表並びに学会での講演及び発表など科学技術コミュニケーション活動（アウトリーチ活動）が図られていたか